



CNNスペシャル
インタビュー



In Need of Regulation

マイクロソフト・プレジデント
ブラッド・スミス

「諸刃の剣」のデジタル技術とどう向き合うか

世界のデータの覇権を握る米国巨大IT企業4社、グーグル、アップル、フェイスブック、アマゾンの「GAFA」は、脆弱なセキュリティやデータ収集の不透明性において、度々批判的となっている。時価総額でGAFAを上回るマイクロソフトも例外ではない。個人データは誰のものなのか、また、プライバシーは守られるのか——マイクロソフトのプレジデント兼最高法務責任者を務めるブラッド・スミス氏が語ってくれた。



■インタビュー／ファリード・ザカリア

インド出身のジャーナリスト、国際問題評論家。イエール大学卒業後、ハーバード大学で博士号を取得。国際政治経済ジャーナル「フォーリン・アフェアーズ」編集長、ニュース週刊誌「ニューズウィーク」の国際版編集長を経て、2008年6月よりCNNで「Fareed Zakaria GPS」の番組ホストを務める。1964年、ムンバイ生まれ。



■ブラッド・スミス

1959年、ウィスコンシン州生まれ。プリンストン大学卒業後、コロンビア大学法学部で法学博士号を取得、スイス・ジュネーブ国際関係大学院で国際法と経済学を学ぶ。1993年にマイクロソフトに入社し、現在はプレジデント兼 CLO (最高法務責任者) を務める。データとプライバシーを巡る課題を論じた『Tools and Weapons』を共著で執筆。

65 テクノロジーの持つ力

Fareed Zakaria Technology can be a force for great good, but as we've seen, it can also be a force for ill. My next guest, Brad Smith, has a big job—he is the president of Microsoft—but he has time to think deeply about how technology intersects with humanity. He's written a very interesting new book about it. It's called *Tools and Weapons: The Promise and the Peril of the Digital Age*.

Welcome to the show.

Brad Smith Thank you. Nice to be here.

ill:
悪、害悪
have time to do:
～する時間を設ける
intersect with:
～と交差する、交わる
humanity:
人間、人類
Tools and Weapons: The Promise and the Peril of the Digital Age:
▶ブラッド・スミスによる初の著書(未訳)。2019年9月10日刊行。
peril:
危機、危険

ファリード・ザカリア テクノロジーは素晴らしい善の力になり得ますが、われわれがこれまで目にしてきたように、悪の力にもなり得ます。今回のゲスト、ブラッド・スミスさんは、大きな仕事に就いています——マイクロソフトのプレジデントですが、同時に彼は、テクノロジーと人間の交わり方について深く、時間をかけて考えています。彼はそれについて非常に興味深い新著を執筆しました。『Tools and Weapons: The Promise and the Peril of the Digital Age』という本です。

当番組へようこそ。

ブラッド・スミス どうも。お招きいただきうれしいです。

66 規制を受けずにいたデジタルテクノロジー

Zakaria I think Americans are having a, kind of, different relationship with technology today than they were 10 or 15 years ago. So, it used to be people said, “Oh, it's all fine, because the consumer's getting a free product or is getting cheap products.” But it does feel weird where the...you have a, you

have a relationship with:
～と関係を持つ、かかわっている
free product:
無料の商品
feel weird:
しっくりこない、違和感がある

ザカリア アメリカ人はテクノロジーとの付き合い方が、ある意味で、少し変わってきている気がします、10年前、15年前と比べて。つまり、かつてはこんなふうに言われたものです、「ああ、結構なことだ、消費者が無料で商品を手に入れたり安い商品を手に入れたりできるんだから」と。ですが、やはりどこか違和